



農家を支える 頼れる若き工場長

株式会社大門商店
加瀬 貞弘さん(37歳)

株式会社大門商店は、養蚕用具修理の行商から始まり、現在は日用雑貨や農業資材の販売のほか、農業用ハウスの建設とメンテナンスを行う、創業180年を超える歴史を持つ会社です。鎌数工業団地にある工場では、農業用ビニールの加工をしています。農家のベストパートナーとなれるよう、農業を取り巻く環境変化に対応し、安定的な農業生産と農業の生産性の向上を追求しています。

——どんな仕事をしていますか

入社して約10年は配送業務を担当し、その後約5年は農業資材の営業をしていました。現在はハウスに使われる農業用ビニールを、お客様の要望に合わせて加工する仕事をしています。加工を一任されているため、縫い目などに

株式会社大門商店

所在地／旭市鎌数9163-37

電話番号／63-9111

問題がないかをよく確認し、責任感を持って丁寧に仕上げています。幅や長さによっては、約50kgの重さになることもあるため体力が必要ですが、自分の作ったものが使われているのを目にしたときは、やりがいを感じます。

——仕事で大変なことは

注文が増える夏から冬にかけての繁忙期は、常に納期を気にしています。特に台風の時期は、ハウスのビニールが破れることがあり、応急処置の依頼も多くなるため、スケジュールどおりに進行するのが大変です。

——今後の抱負は

自分の加工したビニールが農家の皆さんの役に立ち、農作物の生産量増加につながれば良いと思います。農業が盛んな旭市で、安心して農作物を育てられる環境づくりに貢献していきたいです。



巻かれたビニールをほどく



ビニールの加工作業